

# 議案とその結果

## 豊かな自然や環境を保全するために ＝環境基本条例を制定＝

6月定例会（6月4日～20日）

六月定例会は、六月四日に招集され二十日までの十七日間の会期で開催されました。

会議の中で、全国市議会議長会から正副議長八年以上在職議員として、市川清純議長の表彰の報告がありました。

環境基本条例の制定・平成十九年度一般会計補正予算など議案十四件が提出され、慎重な審議の結果、全議案原案のとおり可決されました。

今回一般質問には十八名の議員が立ち、市政全般にわたり幅広い視点から市政を質しました。

### Ⅱ 条 例 Ⅱ

#### ○環境基本条例

環境基本法に基づき、本市の豊かな自然や環境を保全し、次世代に引き継ぐため、市民はもとより地域の団体、事業者等が協働して果たしていく役割を定め、環境保全に関する全体的な考えや基本姿勢を定めるもの。

#### ○国民健康保険条例の一部改正

平成十九年度国民健康保険税の算出基礎数値確定による税率等の改正。

#### ○特別職の職員で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する 条例の一部改正

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正に伴う条例の一部改正。

#### ○自転車等駐車場条例の一部

歳入歳出それぞれ一億二千七万八千円の増額となり、総予算額は、二百四十七億四千四百二十九円となりました。

歳出の主なものは、

・知的障害者小規模作業所助成事業の減額  
一千六百三十七万二千円

・同訓練等給付事業の増額  
三千五百四十四千円

・国保財政広域化支援事業としての国保会計繰出金の増額  
二千八百万円

・国保会計基盤安定繰出金の減額  
一千九百七十五万四千円

・民間保育所運営費の減額  
一千五百七十四万四千円

・水道事業会計繰出金の増額  
三千一百一十九千円

・一般市道整備事業の増額  
一千三百二十万

#### ○国民健康保険特別会計

歳出において、医療費の所要額を過去の実績及び被保険者数の伸び等を勘案して推計した結果、総額で五千九百七十六万三千円の減額。歳入においては、医療費等の負担ルールに基づき再算定の結果、現行税率では医療分について今年度の所要額の確保が困難

なことから、税率改正する。

#### ○老人保健特別会計

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ七千三百五十七千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ五十八億八千九百六十五万五千円とする。

#### ○岩代簡易水道事業特別会計

歳入歳出予算の総額にそれぞれ七千八百六十五万四千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ三億二千七百六十万四千円とする。

#### ○東和簡易水道事業特別会計

歳入歳出予算の総額からそれぞれ三十四万六千円減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ三億一千五百六十九万円とする。

### Ⅱ その他 Ⅱ

#### ○市営住宅明渡請求訴訟

市営住宅使用料（家賃）を長期にわたり、また高額に滞納している者に住宅の明渡し及び使用料の支払いを求めるためのものである。

#### ○市道路線の認定及び変更

民間開発道路管理引受等に伴う路線の認定及び変更。

### Ⅱ 平成十九年度

#### 補正予算 Ⅱ

#### ○一般会計

# 討 論

## 二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定及び平成19年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算

齋藤 広二 議員

平成18年の医療費が少なかったことで、3億4,000万円の黒字となりました。平成19年度会計は、その全額を繰り入れたことは評価するものですが、①応能、応益割合で低所得者の負担となる応益を増やしたこと。②年間所得100万円以下の国保世帯が61%を占め、滞納が1,595世帯、5億2,000万円を超えています。国保基金2億5,600万円の一部を取りくずして、いっそうの引き下げを。③65歳以上の年金控除縮小で、

年金が増えないのに約2,000万円の増税となり、老年者控除、住民税非課税措置の廃止とあわせて大きな負担となる。④国保財政に対する国の負担割合が50%から34.5%に削減され、二本松市で1億円以上と試算されます。国の負担を元に戻すことによって大幅な国保税引き下げが可能。⑤多重債務者の相談窓口を作り、国保税滞納の解消をはかることなどを求める。以上のことから反対討論といたします。

### 第四回四月臨時会

第四回四月臨時会が四月二十七日に開催されました。

提出された議案は、市長提出議案七件で、慎重審議の結果、全議案原案どおり承認されました。

○専決処分の承認(平成十八年度二本松市一般会計補正予算)

歳入歳出それぞれ二千七百六十万円を追加し、歳入歳出予算の総額は二百五十六億八千七百六万八千円となりました。

○専決処分の承認(平成十八年度東和簡易水道事業特別会計補正予算)

歳入歳出それぞれ七十五万八千円を追加し、歳入歳出予算の総額は二億一千三百六十七万七千円となりました。

○専決処分の承認(二本松市税法例の一部を改正する条例)

地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正を行う

### 第五回五月臨時会

第五回五月臨時会が五月二十一日に開催されました。

提出された議案は、市長提出議案二件で、慎重審議の結果、両議案原案どおり可決されました。

○平成十九年度二本松市一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ五千八百二十五万八千円を追加し、歳入歳出予算の総額は二百四十六億二千三百

ものである。

○専決処分の承認(二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

国民健康保険税の基礎課税額の限度額を五十三万円から五十六万円に引き上げること。

○専決処分の承認(平成十八年度二本松市一般会計補正予算)

歳入歳出の補正(老人保健特別会計繰出金二千五百九十四万九千円)

○専決処分の承認(平成十八年度二本松市老人保健特別会計補正予算)

歳入歳出それぞれ五千五十六万六千円を追加し、歳入歳出予算の総額は五十八億四千七百七十四万七千円となりました。

○二本松市茂原財産区管理委員選任の同意について

渡辺 周一 門馬 富夫  
齋藤 廣市 菅野喜一郎  
渡辺市太郎 齋藤 正人  
菅野 甲一

九十五万一千円となりました。内容は後期高齢者医療制度施行に伴う事務費繰出金の増と電算システム開発委託料等の増による措置。

○平成十九年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ二千四百八十八万四千円を追加し、歳入歳出予算の総額は六十三億五千四十三万六千円となりました。内容は、後期高齢者医療制度により国保制度改正による電算システム変更委託料の増に伴う措置。

の増に伴う措置。

## よりよい議会活動をめざして 常任委員会 行政視察報告

### 生涯学習・学校教育施策を視察

(五月二十二日～二十四日：大分市、佐伯市、日向市、宮崎市)

### 文教常任委員会

大分市にはコンパルホールという、社会教育・社会体育、公民館等の機能を併せ持つ、日本初の文化、スポーツの総合複合施設があり、子供から老人、勤労者まで、多くの市民が交流の場として積極的に利用していました。佐伯市では、学校の統廃合に伴う跡地利用において、小学校体育館は、国指定重要有形民俗文化財を展示する資料館に、校舎は同資料館の体験学習施設と保育所に、また、中学校跡地は、物産展示販売施設等を整備し、道の駅にするなど、有効な利活用がなされていました。

日向市は、教育特区により小中一貫教育を導入しており、九カ年を見通した教育課程編成、四・三・二制による生活・学習集団の再構築など、専門性や個性教育の重視を図っており、小中が同一建物である全国初の併置型の学校では、校長と教職員が小中兼務という形態で、また、小中が隣接する学校では、併設型、隣接しない学校では、連携型の一貫教育校として運営がなされていました。

宮崎市では、市の中央を流れる大淀川に清らかな流れを取り戻すため、また、自然や水資源を大切にす意識高揚等のため、地域の特色を生かした大淀川学習館が大きな成果をあげていました。

今回の視察先は、地域の特性や資源を十分に活用し、充実した施策を展開している地域であり、大変参考とすべき点が多い視察でした。



コンパルホール前にて